

# Taiwan

NSO National Symphony Orchestra  
Japan Tour 2023

Philharmonic

台湾

フィルハーモニック

2023日本公演

台湾が世界に誇るトップ・オーケストラ、  
新音楽監督 準・メルクルと共に、  
待望の再来日！

兵庫公演

5.6

①

14:00開演(13:30開場)

兵庫県立芸術文化センター-KOBELCO 大ホール

May 6, Saturday, 14:00 (13:30 Doors open) @Hyogo Performing Arts Center Kobelco Grand Hall

プログラム

李元貞:美濃之道

ブルッフ:スコットランド幻想曲 Op.46 \*

メンデルスゾーン:「フィンガルの洞窟」Op.26

ドビュッシー:交響詩「海」

Program

Yuan-Chen Li: Tao of Meinong

Bruch: Scottish Fantasy, Op.46 \*

Mendelssohn: The Hebrides Overture, Op.26

Debussy: La Mer

出演

リチャード・リン(ヴァイオリン) \*

台湾フィルハーモニック

指揮:準・メルクル

Artists

Richard Lin, violinist \*

Taiwan Philharmonic

Jun Märkl, conductor

チケット全席指定 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥3,000(税込)

主催・お問合せ:株式会社アスペン 03-5467-0081/台湾フィルハーモニック 後援:台北駐大阪経済文化弁事処・台湾文化センター

プレイガイド:アスペン 03-5467-0081/e+(イープラス) <https://eplus.jp/> チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255(10:00-17:00、月曜休み※祝日の場合翌日)

Instagramアカウント:taiwanphilharmonic

LINEアカウント:Taiwan Philharmonic

※止むを得ず、公演の内容が一部変更になる場合がございます。 ※未就学のご入場はご遠慮ください。

# Taiwan Philharmonic



## 台湾フィルハーモニック (國家交響樂團) Taiwan Philharmonic (National Symphony Orchestra)

台湾フィルハーモニックは、1986年に設立された台湾の国立オーケストラとして名高い(台湾では「臺灣愛樂、國家交響樂團National Symphony Orchestra」の名称)。アジア諸国の中でも、最も優れたオーケストラの一つとして評価されている。2014年にはナショナル・パフォーマンス・アーツ・センターのレジデント・オーケストラ&アーティストック・アフィリエイトとなった。2008年から2010年までギュンター・ヘルビヒが芸術アドバイザー兼首席客演指揮者をつとめ、2010年8月から欧米で高い評価を得ているリュウ・シャオチャが第5代音楽監督をつとめ黄金時代を創り上げた。2021年からが準・メルクルが芸術顧問をつとめ、2022年より第6代音楽監督に就任、台湾の文化的豊かさと音楽教育の強化にさらに貢献している。

## 準・メルクル (指揮 / 台湾フィル音楽監督) Jun Märkl, conductor / music director, Taiwan Philharmonic



©Tey Tat Keng

1959年ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学んだ後、セルジュ・チェリビダッケらに学ぶ。ポストン響の奨学金を得てタンゲルウッド音楽祭に参加し、レナード・バーンスタイン、小澤征爾に学んだ。ヨーロッパの歌劇場での出演を重ね、ザールラント州立劇場(1991-94)、マンハイム国立劇場(1994-2000)の音楽監督を歴任。1993年にウィーン国立歌劇場、1996年に英国ロイヤル・オペラ・ハウス、99年にはメトロポリタン歌劇場にデビューするなど、次々とオペラ指揮者としてのキャリアを築いてきた。リヨン管の音楽監督(2005-11)、ライプツィヒMDR響の首席指揮者(2012年まで)、バスク国立管の首席指揮者(2014-2016)を務めるなど、華やかなキャリアを築いている。2021年からマレーシア・フィルの音楽監督、台湾フィル(国家交響樂團NSO)の芸術顧問、ハーグ・レジデンティ管の首席客演指揮者をつとめ、2022年には台湾フィルの第6代音楽監督に就任した。日本ではN響のほか多くのオーケストラとの共演(新国立劇場含む)やウィーン国立歌劇場などでの来日公演で更に活動の幅を広げている。

## リチャード・リン 林品任 (ヴァイオリン) Richard Lin, violin



1991年アリゾナ・フェニックス生まれ。台湾で育ち、4歳の時にヴァイオリンを学び始めた。カーティス音楽院にて、名教師アーロン・ローザンドに師事。現在、ジュリアード音楽院修士課程にてルイス・カプランに師事している。2013年第5回仙台国際音楽コンクールで優勝および聴衆賞を受賞。2018年9月、若手ヴァイオリニストの登竜門として世界にその名を知られる難関、第10回インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝し、一躍世界の注目を浴びた。ソリストとして、これまでに台湾フィルのほか、仙台フィル、横浜シフォニエッタなどと共演。また、台湾、日本やアメリカで、多くのソロ・リサイタルを開催。現在の使用楽器は、インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールから貸与されたストラディヴァリウス「Ex-ギンゴールド」(1683年製)である。

東京公演

2023年5月8日(月)19:00開演(18:30開場) 東京オペラシティ コンサートホール:タケミツ・メモリアル

詳しくはこちらからご覧ください → <https://www.aspen.jp>